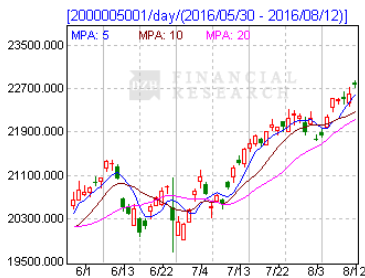


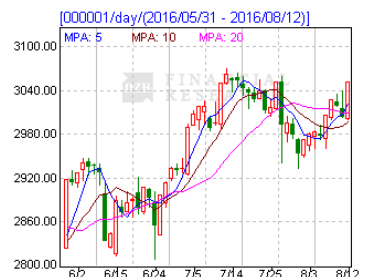


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,576.47	-37.05	-0.20	0.18	6.61	17,425.03
NASDAQ	5,232.90	4.50	0.09	0.23	4.50	5,007.41
日経225	16,919.92	184.80	1.10	4.09	-11.11	19,033.71
上海総合	3,050.67	48.03	1.60	2.48	-13.80	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,294.23	60.87	1.88	2.78	-11.71	3,731.01
ハンセン	22,766.91	186.36	0.83	2.80	3.89	21,914.40
H株	9,554.85	131.51	1.40	4.64	-1.10	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.8%高と続伸、上海総合指数は2.5%高

香港市場ではハンセン指数は1週間で2.8%高と続伸。週明け8日は前週末の米株市場が大幅反発した流れを引き継ぎ3日続伸と堅調なスタート。9日は利益確定売りに押され反落したものの、10日以降は再び3日続伸となった。深セン・香港ストックコネクの専門チーム設置報道を受けて制度の早期導入期待が高まった。本土市場では上海総合指数が1週間で2.5%高と4週ぶりに反発。節目の3000ポイント台を下回る場面では押し目買いが膨らんだほか、弱い経済指標の発表で逆に景気対策への期待も高まった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、中国の景気減速懸念が重しに

香港市場は上値の重い展開か。好調なNY市場は引き続き追い風となるが、中国の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで景気の下押し圧力が強まっており、中国の景気減速懸念が相場の重しとなりそう。また、今週は17日にFOMC議事要旨が公表される。仮に早期利上げ観測が再び勢いを増すようであれば利益確定売りが優勢となる可能性が高い。一方、本土市場も上値の重い展開が見込まれる。景気減速懸念が強まる中、中国政府は資産バブル抑制に向けた引き締めを強化しており、上値を追う展開にはなりにくい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 康師傅控股 (00322)	7.53	11.56
2 サンス・チャイナ (01928)	32.70	9.36
3 銀河娛樂 (00027)	28.10	9.34
4 華潤電力控股 (00836)	13.26	7.63
5 中国工商银行 (01398)	4.79	6.92
6 華潤置地 (01109)	21.25	6.89
7 中国平安保險 (02318)	39.05	6.40
8 交通銀行 (03328)	5.70	6.15
9 中国中信 (00267)	12.50	6.11
10 東亜銀行 (00023)	33.80	5.96

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 香港鐵路 (00066)	42.00	-3.78
2 Link REIT (00823)	54.90	-3.35
3 長江インフラ (01038)	68.95	-1.71
4 長江実業地産 (01113)	54.85	-0.45
5		
6		
7		
8		
9		
10		

▼今週の主なイベント

- 8月17日(水) 【米国】FOMC議事要旨公表
- 8月18日(木) 【香港】失業率(5-7月)
- 【中国】70都市不動産価格(7月)

▼今週の期待材料

- ◆中国証券当局が「深港通」の専門チームを設置、早ければ今週中にも「深港通」の導入発表か
- ◆香港の4-6月期GDP成長率は1.7%増、前期比でも1.6%増と2期ぶりにプラス成長に回復
- ◆中国の1-7月の固定資産投資の伸び率が8.1%に減速、投資促進に向けた政策発表期待高まる

▼今週の懸念材料

- ◆12日発表の中国の経済指標が軒並み市場予想下回る弱い結果に、景気の下押し圧力強まる
- ◆17日にFOMCの議事要旨公表、利上げペースめぐりタカ派的な内容なら相場の重しになる公算
- ◆中国の7月の人民元建て融資残増加額は4636億元どまり、前月比で66%減と大幅な落ち込み

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 17日に6月中間決算を発表、市場予想は32%増益
- ☆ ウィン・マカオ (01128) : 22日に新たなカジノリゾート「ウィン・パレス」が開業
- ☆ 瑞声科技 (02018) : ハンセン指数への新規採用が決定、9月5日付で発効
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-7月の新規受注額は20%増加、通期目標達成率63.1%に
- ☆ 株洲中車時代電気 (03898) : H株指数への新規採用が決定、9月5日付で発効
- ★ 康師傅控股 (00322) : ハンセン指数からの除外が決定、9月5日付で発効
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 17日に6月中間決算を発表、市場予想は83%減益
- ★ TCLマルチメディア (01070) : 6月中間決算は30%減益、市場予想下回る
- ★ 中国平安保険 (02318) : 17日に6月中間決算を発表、市場予想は8%減益
- ★ 中国建材 (03323) : H株指数からの除外が決定、9月5日付で発効

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。